

9期再発見！なんでも見てやろう

## 「野崎観音」 界限巡り

令和3年11月10, 18日

野崎観音は、正式名「福聚山 慈眼寺」という曹洞宗の寺院で、年配の方々には昭和初期に大ヒットした東海林太郎の「野崎小唄」の舞台となったことで親しまれています。現在でも、無縁経法要が行われる5月1日から1週間は「ようか日」と呼ばれ、参道にはたくさんの屋台が並び、多くの人々で賑わっています。境内には本堂、鐘つき堂のほか、江口の君をまつた江口の君堂、お染・久松の塚などがあります。

見学は両日ともに晴れの散策には良い日よりでした、野崎観音までは大東市観光ボランティアガイドの皆様の案内です。観音浜跡から歴史民俗資料館～野崎観音への道150段ほどの階段です、観音堂からは大阪の町が一望でき、お染久松も楽しんだことでしょう。



野崎観音 野崎観音門前羅漢像

観音浜跡の説明・専應寺（開基は唯信伝）  
大阪平野を一望





野崎観音見学  
七五三まいり